

ROTOBO

Connecting Markets

# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2022年(令和4年)11月15日号 No.1908

## 目次

■ 2022年1～9月のロシア経済と鉱工業生産	1
■ エトセトラ	6
第3回情報提供セミナーのご案内／6	
「続・カザフスタンを読み解く3つの視点」開催／6	
■ トピックス	7
ロシア港湾における貨物量大幅減／7	
ロシアが資源企業の株式売買禁止／7	
マツダがロシアから撤退／7	
経産省が生産関連設備の整備支援／7	
電通グループがロシア撤退／8	
サハリン1も日本の権益維持／8	

## 2022年1～9月のロシア経済と鉱工業生産

### はじめに

ロシア連邦国家統計局より2022年1～9月のロシアの主要経済指標が発表されたので、鉱工業生産を中心にそれらを図表にまとめて紹介する。

ロシアのGDP成長率は、前年同期比-2.0%となった。2022年の第1四半期は+3.5%と増加していたが、第2四半期は-4.1%、第3四半期は-4.4%と減少している(図表2)。

鉱工業部門の生産指数の1～9月の前年同期比を見ると、鉱工業は+0.4%、鉱業は+1.9%、電気・ガスは+0.3%と増加している。一方で製造業は-0.5%、水道・廃棄物処理は-5.5%と減少している。9月単月の前年同期比を見ると、鉱工業は(-3.1%)、鉱業(-1.8%)、製造業(-4.0%)、電気・ガス(-1.5%)、水道・廃棄物処理(-7.5%)と軒並み減少している(図表4)。1～9月の品目別の内訳に関しては、主要な生産品であるエネルギー資源に着目すると、石油(+2.8%)、天然ガス(-12.1%)となっている。その他変化の大きな品目に注目すると、増加した品目は、コンピューター・同部品(+45.5%)や農業用トラクター(+28.3%)などであり、減少した品目は、乗用車(-65.9%)や家庭用洗濯機(-44.2%)、家庭用冷蔵庫・冷凍庫(-42.6%)、などである(図表5)。

2022年1～9月の鉱工業生産を連邦管区別・地域別に見ると、前者では北カフカス連邦管区(+5.3%)、後者ではサハ共和国(+12.7%)やタタルスタン(+8.5%)が、大きく増加した(図表6)。